

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

団体名 ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 担当者名 友部 貴夫

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

| | |
|------------------------|--|
| 実施日時 | 平成22年7月31日(土) 10:00 ~ 13:30 |
| 実施場所 | 日立シビックセンター 料理室 |
| 参加者と人数 | 会員20名 |
| 派遣講師名と出身国 | 具珉徹 (韓国) |
| 活動の内容 | ・韓国料理の調理 ・韓国についての紹介 |
| 今回実施されたワールドキャラバンについて評価 | 事業に参加しての意見・感想 毎年、素晴らしい方を紹介していただいて、どうもありがとうございます。バンクに登録しようとする方々なので、交流も楽しくでき、私どもも安心して事業を組み立てることができています。 今後ともご協力くださいますようお願いいたします |
| 参加者の感想 | ・韓国の青年にも料理ができる方がいらっしゃるんですね。 ・韓国では、牛肉を調理前の洗う習慣があり、驚きました。 ・自宅でもできそうなので、作ってみたいと思います。 ・体験談の中で徴兵制度の話がありました。韓国の若者が礼儀正しく、精神的にもしっかりしているのは、その制度の中での経験が生きているのではないのでしょうか。 |
| 担当者の感想 | 今回も素晴らしい講師をご紹介いただきどうもありがとうございました。ミンチョルさんは、ご友人にもいろいろ相談して、料理の品目を決めてくださったそうです。料理は「チヂミ」と「チャプチェ」(春雨と牛肉、玉ねぎ、人参などを入れた炒め物)、「わかめスープ」の3種類を作りました。参加者には、料理の手慣れた主婦層が多く、若いミンチョルさんにとっては、やりづらいところがあったかもしれませんが、「これも勉強です」とおっしゃって、嫌な顔一つせず、ご協力いただきました。おかげをもちまして、楽しく、有意義な事業を実施することができました。 今年度、当会では韓国をテーマにして、事業を取り組んでおります。引き続き、アジア諸国の文化を多くの皆様に紹介し、国際交流推進の一助としていきたいと思っております。 |

